

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 31 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部 経営学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 29 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	ポーランド
留学先大学	ポズナン経済大学(日本語名) Uniwersytet Ekonomiczny w Poznaniu(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ポーランド語/英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☒ その他:Erasmus 生と同様の扱い
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～1 月下旬 2 学期: 3 月上旬～7 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 8000 人
創立年	1926 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (zloty ズウォティ) (1 現地通貨 = 43 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学(交換型)のため
宿舍費	€6,743 (/29,031zł)	(約 1,240,000 円)	民間寮に寄宿 ひと月 613 ユーロ
食費	22,000	(約 940,000)円	
図書費	70	(約 3,000)円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	350	(約 15,000)円	一か月あたり 35zł
現地交通費	1,120	(約 48,000)円	トラム、タクシー代など(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,827	(約 78,000)円	
旅費(留学中)	18,333	(約 788,000)円	帰国代約 27 万円含む
被服費	856	(約 37,000)円	
医療費	(2,280)	(約 98,000)円	数回のクリニック代 ※保険でカバーされるため自らの支払いはなし
保険費		124,700 円	形態:
渡航旅費		約 265,000 円	
ビザ申請費		0 円	
雑費	2,404	(約 103,000)円	日用雑貨や薬など
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	約 76,000zł (=3,267,500 円)	約 390,000 円	
総計(A+B) ※円		3,658,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京（羽田） 目的地：ポズナン 経由地：フランクフルト

復路 出発地：ポズナン 目的地：東京（羽田） 経由地：フランクフルト

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：ルフトハンザ
料金：266,450 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：ルフトハンザ公式サイト
(※「スカイスキナー」というサイトで様々なフライトを調べ好みのものを見つけ、ルフトハンザのサイトで購入しました。
近況報告書でも書きましたが好みがあれば LOT ポーランド航空の東京～ワルシャワ(～ポズナン)のフライトを往復
で取ってしまうことをおすすめします。)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前: The Eagle) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

ポズナン経済大学の国際事務局からメールにて紹介され、自ら契約しました。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

この寮では理想的な滞在をすることができました。この寮は民間企業が運営していて、建物はとても新しく、セキュリティがしっかりしており、大学やスーパー、中央駅、旧市街などよく行くほとんどの場所が徒歩圏内に位置しています。すべての部屋が個室タイプでキッチン、浴室が備え付きとなっています。建物は 10 階建てで、ポズナンでは高層ビルがそれほど多くないため、高層階を選ぶと非常に良い景色を見ながら生活することができます。共用部には個室型、オープン型両方の勉強スペース、小さなジム、大きなキッチン、プロジェクター付きの大きな歓楽スペースがあり、設備がかなり充実しています。それらの場所で会う人たちと友達になることもでき、非常に良かったと感じています。

一方でデメリットとして、一か月 630 ユーロの賃料は大学寮や他のアパートを借りるのと比べるととても高いこと、地下にある洗濯機と乾燥機は一度使うのに 8 ズウォティほどかかること、サービスの質が落ち始めている(例えば秋学期は夜間常時警備担当の人がいたが春学期になり突然外部の警備員がたまに巡回に来るだけという運用になった、まだ新しい建物にも関わらず故障などの問題が発生することなどが挙げられます。ですが総合的に考えてこの寮 The Eagle はとてもおすすめできる滞在先です。

ただ他の民間寮として Student Depot や、セキュリティも問題なく留学生だけがシェアするタイプのアパートなど選択肢はいくつかあるので、それらをひと通り見たうえで決めるのが良いと思われます。

大学寮に関してはあまりおすすめできません。当大学所有の寮はすべて古く、評判が良くありません。賃料を最優先に考え、最低限の生活ができればよいと考える人以外は避けるのが無難です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 保険会社紹介の現地クリニック)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険情報などについては最初に割り当ててもらった現地生のメンターに聞き、全く問題ないと聞いたため積極的に情報を収集することはしませんでした。ポーランド、とりわけポズナンは非常に安全で、私は犯罪を見聞きすることは一切ありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

外で使うキャリア通信については、市中で使う分にはとても速く快適でした。列車に乗ったり街の一部分に行ったり地下にいたりするとつながることがあります。寮の WiFi についてはたまに遅くなることがありましたが、キャリア通信を使って対応していました。私が使っていた Orange というキャリアは一か月 35zl (1500 円ほど) で 75GB 使えるという破格のプランを提供しているため、それを契約するとデータ容量を気にする必要はなくなります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Revolut というオンライン上で取引ができるサービスの口座を開け、日本の銀行口座からその口座に送金していました。このサービスは外貨への交換手数料が非常に安いことからここ数年で大きく成長しています。この Revolut では口座に結びつけたデビットカードが発行できるため、そのカードを使って日常の決済をしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

絶対に現地では調達できないというようなものはあまりありません。

ここでは持って行ってよかったものと持っていくべきだったものを記載します。

- ・日本食を作るためのベース (だしの素やカレー粉など)
(※街中のアジアショップに売っていることもありますが供給が不安定です。)
- ・ヒートテックの肌着、タイツなど
(※現在ユニクロはワルシャワにしかなく高価格なので日本から持っていくことを強くおすすめします。)
- ・トートバッグ
- ・洗濯ネット
- ・洗濯物を運ぶための大きい袋 (100 円均一で売っています。)
- ・たくさんの下着と洋服
- ・サンダル
- ・ブーツ (雨雪のとき困らないよう)
- ・水着
- ・Revolut もしくは Wise のデビットカード
- ・予備のクレジットカード

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
(ECTS)52 単位	☒ (予定) 26 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☒ その他(出発前に登録を行い、授業開始後 2 週間の間で登録を変更する機会があります。) ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cultural Differences in International Marketing	国際マーケティングにおける文化の違い
科目設置学部・研究科	Erasmus
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とプレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Dr. M. Bartosik-Purgat
授業内容	各地の文化の違いと企業の成功事例、失敗事例
試験・課題等	グループを組んで一つの国の文化とその国で成功している事例を紹介するプレゼン 選択式の試験 それぞれ 50%の割合で評価。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Human Resource Management		人材管理論
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	(予定) 1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. M. Brzozowski	
授業内容	人材管理の各理論について	
試験・課題等	各授業の最後に課されるワークシートに取り組み提出(70%) 実在の企業の人材管理についてプレゼン(30%)	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International Negotiation and Contracting		国際企業間の交渉と契約
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. R. Sliwinski	
授業内容	国際企業間の交渉と契約について、準備段階から実際の交渉の仕方、契約の仕方などについて	
試験・課題等	課題が二回(それぞれ 50%) 生徒それぞれがある企業の交渉代表になりきり、一定程度の情報が与えられ、相手の企業代表役の生徒と交渉、契約を行う。準備シートと契約書の内容をもとに評価。	
感想を自由記入	教授は実務経験も豊富で、知識量も多く、理論的に考えるタイプながらも具体例もたくさん話してくれ、身振り手振りを使いながら解説してくれる非常に優秀な方です。 その分課題もタフですが、学べる事がとても多いので履修をおすすめします。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Internationalisation of Small and Medium Sized Enterprises		中小企業の国際化
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. R. Sliwinski	
授業内容	中小企業の定義・重要性から、戦略の立て方、どう市場で勝つかまで	
試験・課題等	個人課題とグループ課題一回ずつ 個人課題は次世代の鍵となる技術についてまとめるレポート、グループ課題はある技術を用いたベンチャー企業を考案し、どういった商品をお売するのか、資金計画、未来予想図など詳しくまとめたレポートの提出とプレゼンによって評価	
感想を自由記入	こちらも International Negotiation and Contracting と同じ教授によって行われた授業です。講義は非常にわかりやすく深い部分まで体系的に学ぶことができます。課題については自力だけで行うのは非常に大変なレベルでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing Strategies-Polish cases and Experiences		マーケティング戦略 ポーランドでのケースと経験
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	4P、PESTEL 分析などの基本的なマーケティング論とポーランドでの具体例	
試験・課題等	出席と学期終盤のプレゼン	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Organizational Behaviour		組織行動論
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. A. Ignys	
授業内容	組織行動論の各論について	
試験・課題等	各授業最後に行われるケーススタディと最終試験により評価	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Polish Language Course for Beginners		初心者向けポーランド語講座
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	秋学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	(予定) 3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、実践形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Mgr M. Bystrzanowska	
授業内容	基礎的なポーランド語に関する文法、単語、会話練習	
試験・課題等	日ごろの出席と最終試験	
感想を自由記入	個人的に留学期間でこの授業が最もサプライズ的に良かったです。先生はとても親切で優しく、つまらない勉強になってしまいがちな文法の知識の説明は最低限に抑えて先生と生徒、もしくは生徒同士での会話練習に多くの時間を割くスタイルの授業でした。教科書だけではなく多くの教材を取り入れてくれ 90 分間楽しみながら学べます。自然とクラスメイトと話す機会も多くなり友達を作りやすい授業の一つです。現地語を学べるという意味でも、友達をたくさん作れるという意味でも、非常におすすめです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Corporate Social Responsibility		CSR- 企業の社会的責任
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	春学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	(予定) 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. I. Olejnik, Dr. M. Stefanska	
授業内容	CSR の基礎と企業の事例について	
試験・課題等	授業内でのケーススタディや発表、最終試験をもとに評価	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Internal Communication in Business Organization		ビジネス組織における内部の意思疎通
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	(予定) 1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. J. Fazalagic, Dr. M. Antoniak	
授業内容	企業内部でのコミュニケーションの失敗からより良いコミュニケーションとは何かを考える授業	
試験・課題等	授業内でのケーススタディ・発表、プレゼンテーション、最終試験から評価	
感想を自由記入	この授業は二人の教員によって行われました。Antoniak 先生は講義で具体例を加味しながら話してくれ良かったです。Fazalagic 教授に関しても最初は講義を抽象と具体を織り交ぜて話してくれていて学びになっていたのですが、途中から意図のわからないタフな課題を授業時間全てを使って取り組ませるようになったり、いきなりメール一通だけで重要な課題や試験の日程を前倒して私たちを困らせたりしました。春秋両方でこの教授が担当の授業がありますが、それらの履修はあまり推奨できません。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International Marketing: How to Enter and Win Central European Markets?		国際マーケティング: どうやって中央ヨーロッパ市場で勝つか
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	(予定) 1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. A. Hauke-Lopes	
授業内容	国際マーケティングの詳細	
試験・課題等	プロジェクトとプレゼン、企業見学への参加(もしくは最終試験)で評価	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Polish Language Course for Beginners (2 nd part)		初心者向けポーランド語講座(2)
科目設置学部・研究科	Erasmus	
履修期間	春学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	(予定) 3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Mgr M. Bystrzanowska	
授業内容	秋学期の講座の続き ポーランド語 CEFR A1 レベルの会話を学ぶ	
試験・課題等	授業の出席、最終試験の出来に基づいて評価	
感想を自由記入	この初心者向け講座第二パートは 1 学期目と比べると難易度が上がりました。先生は引き続き優しく楽しんで学ぶことができますが、生徒数が第一パートと比べかなり減ってしまうこともあり、少し寂しくモチベーションが下がりました。 それでもしっかりポーランド語に触れる機会は留学期間中、意外とこの授業だけですし、現地の人が驚いてくれるくらい話せる力もついたので、2 学期間留学するならばぜひ取ってほしい授業です。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

航空業界や自動車業界、教育業界などに興味があります。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

どうしても 4 年で卒業したくて就活も満足に行きたいと考えている人は 2 年生からの留学を推奨します。ただ私のように 3 年生から留学しても、ボストンキャリアフォーラムといった、バイリンガル向けに秋に行われる一斉就活イベントで内定をもらうチャンスもあります。

私は留学に行き、そのまま大学院に行く人、もうすでに自分でビジネスをしている人、正社員ではないけれども多くのお金を稼いでいる人、高校卒業後働いてから大学で勉強している人など、多様な人と出会いました。私はそのような人たちと出会い話しているうち、就活だけが選択肢ではないんだなと柔軟に考えられるようになりました。私は現在、就活以外にも次の学期を休学してスキルを増やすことや、海外での就労を視野に入れつつ海外の大学院に進学すること、大学教員を目指すことなど様々な選択肢を考えています。就活だけをターゲットとせず、いろんな選択肢を考慮に入れてみることをおすすめします。世界は広いです。他の環境での方が、あなたがより輝けるかもしれませんよ。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	(※私は特殊なケースだったため以下はあまり参考にしないでください。詳しい事情は次のページに書いています。)
	4 月 ～ 7 月	経営学部 GREAT 参加、英会話講座受講
	8 月 ～ 9 月	IELTS に向けた勉強
	10 月 ～ 12 月	GREAT 授業参加、英会話講座受講、IELTS 受験、協定留学選考申込
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学予定者向けの大学のワークショップへ参加、米大学への正式出願
	4 月 ～ 7 月	(アメリカビザ申請)、当大学への出願申請、
	8 月 ～ 9 月	ポーランドビザ申請、航空券購入、滞在先確保、出発、Orientation Week
	10 月 ～ 12 月	授業(秋学期)、クリスマス休暇
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験(秋学期)、学期間休暇、春学期 Orientation Week、授業開始
	4 月 ～ 7 月	授業、期末試験(春学期)、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

あなたがもし留学に興味があるのなら、ぜひ挑戦してみてください。不安はたくさんあると思いますが、大丈夫です。私は実際留学を経験してみて、本当によかったと感じています。英語力、コミュニケーション能力、多面的に考える力、自力で生活する力など、様々な面から自らを成長させることができます。もしかするとあなたは実力が足りず、留学してもうまく成長できない、と考えているかもしれません。しかし、今私が思うのは、留学前の自分のレベルがどのくらいに関わらず、留学すればその時の自分と比べ大きく成長できるということです。

例えば私なら、予期せぬトラブルに落ち着いて対処できるようになったり、以前よりも学習に対する意欲が高まったり、自ら暮らしていくための知恵と実行力をつけたりすることができました。

私にとってポズナン経済大学に留学先を変更したことも、非常にいい選択でした。もともと私はアメリカ留学を希望していて、実際にロサンゼルス近郊にある、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校への留学が決まっていた。しかしアメリカ政府が学生向けビザに関する審査内容を変更した影響でビザ受給が遅れ、そちらへの留学が厳しい状況になってしまいました。その状況で手を挙げてくれた明治大学の協定校の中から、私はポズナン経済大学を選びました。

ポズナン経済大学を選んでよかったと思う理由はいくつもあります。一つ目はほとんどネイティブスピーカーがいない環境であるということです。私はもともとアメリカへの留学を希望していましたが、手続きの影響で英語の勉強は全くできず、留学前に疲弊してしまいました。英語力が落ちている状況で、ネイティブの厳しい環境ではなく、みなが第二言語として英語を話す環境で助け合えたことは、自分にとってとても良かったです。かといって周りの人の英語力が低いわけではないので、そこは心配しなくて大丈夫です。自分の英語力に自信のない人にとって、自分のペースで英語力を上げていくのに良い環境だと思います。

二つ目の理由は、この大学の ESN という学生団体の活動がとても活発だということです。留学近況報告書の方でも書きましたが、一週目からポーランド料理ツアー、国際料理ディナー、ボーリング、ハイキングなど多様なイベントを頻繁に開催してくれます。そこにはその学生団体に所属しているポーランド人、ベラルーシ人の学生と、Erasmus 留学で来た留学生がたくさん参加するので、友達をすぐに作ることができます。その後も継続してイベントを開催してくれたり、旅行を計画して連れて行ってくれたり、いくつかの施設と提携していてナイトライフも充実していたりと、この団体のすごさをとても感じ、多くの利益を享受することができました。

三つ目に、ポズナン、またポーランドの国全体が非常に安全だということです。ポズナンでは真夜中に一人で歩いていても全く問題ありません。女性は多少気をつける必要はあるかと思いますが、そういった犯罪を見聞きしたことはありません。盗難についても全くなく、用心せずに日本と同じように生活することができます。物価もそこまで高くなく、街中のトラムや都市間を結ぶ特急列車など交通機関では大学生でも割引が効き、半額で乗車できるなど、留学生にとっても過ごしやすいです。

四つ目に、旅行に行きやすいです。ポズナンはポーランドの西側中央あたりにあり、国内各都市へ特急列車 InterCity で数時間に到着できます。また市内にある空港からも数多くの行先への路線が就航しており、休日へ出かけることも容易です。

以上のことから、留学自体も、ポズナン経済大学への留学も、非常におすすめです。これを読んで少しでも助けになったりポズナン経済大学への留学に興味を持ってくれたりしたらとても嬉しいです。